



令和3年8月13日

各 位

上場会社名 栗林商船株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 栗林 宏吉  
 (コード番号 9171 東証第2部)  
 問合せ先責任者 常務取締役経理部長 小谷 均  
 (TEL. 03-5203-7982)

令和4年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和3年5月14日に公表いたしました令和4年3月期連結業績予想を、最近の動向を踏まえ、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 令和4年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,500	100	250	150	11.85
今回発表予想 (B)	21,500	△ 200	0	△ 100	△ 7.90
増 減 額 (B-A)	△ 1,000	△ 300	△ 250	△ 250	
増 減 率 (%)	△ 4.4%	—	△ 100.0%	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和3年3月期第2四半期)	19,921	△ 276	△ 115	159	12.57

2. 令和4年3月期通期の連結業績予想数値の修正(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,000	200	500	200	15.81
今回発表予想 (B)	43,000	100	400	0	—
増 減 額 (B-A)	△ 1,000	△ 100	△ 100	△ 200	
増 減 率 (%)	△ 2.3%	△ 50.0%	△ 20.0%	△ 100.0%	
(ご参考)前期実績 (令和3年3月期)	41,498	△ 41	305	670	53.00

3. 修正の理由

当社を取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が一定程度継続しているなか、海運事業においては貨物全般に持ち直しの動きが見られるものの、燃料油価格が上昇局面にあり、厳しい状況が続いております。ホテル事業においても新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えず、業績回復が見通せない中、大幅な減収、減益が見込まれます。このような事業環境下で、当初の想定以上に業績悪化が見込まれるため、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を、上記の通り修正いたしました。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上